



会社名 J.フロント リテイリング株式会社  
 コード番号 3086  
 代表者名 代表取締役社長 山本 良一  
 お問合せ先 経営戦略統括部  
 グループ広報・IR担当  
 TEL 03-6895-0178

**2013年4月度 J.フロント リテイリング 連結営業報告**

1. セグメント別売上高（対前年増減率：％）

	4月度	3～4月度累計
百貨店事業	2.8 (4.0)	4.1 (5.4)
パルコ事業	—	—
卸売事業	42.5	27.8
クレジット事業	1.8	3.5
その他事業	16.7	0.5
連結合計	21.6	22.9

(注)2012年9月度からパルコ事業を新たに追加表示し、2013年3月度からスーパーマーケット事業を除外しました。  
 なお連結合計からパルコ事業及びスーパーマーケット事業を除いた4月度の対前年増減率は5.1%増（パルコ事業の対前年増減率は▲1.5%減）、  
 連結合計からパルコ事業及びスーパーマーケット事業を除いた3～4月度累計の対前年増減率は4.7%増（パルコ事業の対前年増減率は2.6%増）。  
 百貨店事業合計の（ ）内は大丸ららぽーと横浜店、大丸新長田店（いずれも2013年1月31日営業終了）を除く既存店ベース。

2. 売上高概況

1) 百貨店事業

・4月度の百貨店事業の売上高は、日曜日が対前年▲1日減であったことに加え、中旬以降の気温低下により春物ファッション衣料雑貨が伸び悩んだものの、ラグジュアリーブランド、美術宝飾品が大幅に売上を伸ばし牽引したほか、銀座店の売りつくしセール（銀座地区再開発・建替えのため6月30日閉店）による嵩上げ効果もあり、大丸松坂屋百貨店合計では対前年4.9%増、関係百貨店を含めた百貨店事業合計では同4.0%増となった。なお大丸松坂屋百貨店、百貨店事業ともに9ヶ月連続で前年実績を上回った。

2) パルコ事業

・気温上昇により前月に春物衣料の動きが前倒しとなったことや、休日が1日少なかったことに週末の天候が不安定だったことも加わり、衣料品を中心としたファッションアイテムの売上が伸び悩んだ。その結果、パルコ事業全体では対前年▲1.5%減となった。

3) その他

・卸売事業の大丸興業は、ソフトビジネス部門で調理用品、アパレルおよび包装資材が大きく売上を伸ばしたほか、食品部門でも水産品、畜産品が好調で、対前年42.5%増と大幅に売上を伸ばした。  
 ・クレジット事業のJFRカードは、リボ払いを利用されるお客様の増加や年会費収入の増加が寄与し、対前年1.8%増となった。  
 ・その他事業は、名古屋店、神戸店の改装工事などで大幅増となったJ.フロント建装が牽引した。

お問合せ先	J.フロント リテイリング株式会社	グループ広報・IR担当
	TEL	03-6895-0178
	FAX	03-6674-7565

## 2013年4月度 百貨店事業 営業報告

### 1. 売上高および入店客数（対前年増減率：％）

	4月度		3～4月度累計	
	売上高	入店客数	売上高	入店客数
大丸 心齋橋店	▲4.9	▲0.9	▲0.4	▲0.7
大丸 梅田店	▲7.8	▲4.5	▲3.8	▲4.1
大丸 東京店	29.3	30.6	33.1	33.6
大丸 浦和パルコ店	3.9	4.8	2.2	4.5
大丸 京都店	▲5.3	2.6	▲1.2	2.3
大丸 山科店	0.6	2.9	0.9	3.3
大丸 神戸店	0.9	▲7.3	5.9	▲1.0
大丸 須磨店	4.6	0.7	6.6	1.5
大丸 芦屋店	▲1.1	▲2.2	▲0.6	▲0.9
大丸 札幌店	4.1	3.9	6.1	4.5
松坂屋 名古屋店	7.2	5.8	7.6	16.9
松坂屋 上野店	▲0.6	▲10.1	▲2.0	▲4.2
松坂屋 静岡店	▲0.2	1.0	2.6	2.5
松坂屋 銀座店	166.0	▲12.7	86.7	▲17.5
松坂屋 高槻店	▲0.3	5.6	▲0.6	1.0
松坂屋 豊田店	3.8	5.7	4.4	4.4
<b>大丸松坂屋百貨店合計</b>	<b>4.9</b>	<b>2.8</b>	<b>6.2</b>	<b>4.6</b>
博多大丸	▲2.0	▲4.9	▲0.4	▲4.2
下関大丸	▲3.0	0.3	▲2.5	▲0.1
高知大丸	▲1.0	▲5.6	0.8	▲5.4
<b>百貨店事業合計</b>	<b>4.0</b>	<b>2.2</b>	<b>5.4</b>	<b>3.8</b>

(注)大丸ららぽーと横浜店、大丸新長田店(いずれも2013年1月31日営業終了)を除く既存店ベース。

前年に上記2店舗を含めた4月度の対前年増減率は、大丸松坂屋百貨店合計 3.4%増、百貨店事業合計 2.8%増。

前年に上記2店舗を含めた3～4月度累計の対前年増減率は、大丸松坂屋百貨店合計 4.7%増、百貨店事業合計 4.1%増。

### 2. 大丸松坂屋百貨店 商品別売上高（対前年増減率：％）

	4月度	3～4月度累計
紳士服・洋品	▲0.1	6.5
婦人服・洋品	3.8	7.1
子供服・洋品	3.0	3.4
その他の衣料品	5.4	7.4
衣料品計	3.2	6.7
身回品	7.8	9.3
化粧品	▲4.5	▲1.6
美術・宝飾・貴金属	34.4	24.9
その他雑貨	14.7	15.4
雑貨計	14.1	11.3
家具	18.9	12.4
家電	▲2.1	10.2
その他の家庭用品	▲2.7	2.6
家庭用品計	2.4	5.2
生鮮	▲2.3	▲1.7
菓子	4.0	4.3
惣菜	6.7	9.4
その他食料品	7.5	4.3
食料品計	4.1	4.5
食堂・喫茶	1.3	2.8
サービス	2.2	3.3
その他	1.2	▲5.1
合 計	4.9	6.2

(注)大丸ららぽーと横浜店、大丸新長田店(いずれも2013年1月31日営業終了)を除く既存店ベース。

### 3. 売上高概況

婦人服・洋品は、ラグジュアリーブランドが大幅に売上を伸ばしたほか、増床した東京店も好調であった。紳士服・洋品は、ワイシャツ、ネクタイなど洋品は好調であったが、天候不順によりポロシャツ、Tシャツなどは伸び悩んだ。身回品は、売りつくしセールを開催中の銀座店が売上を伸ばしたほか、ハンドバッグ、旅行用品なども好調に推移した。雑貨は、宝飾品や時計など高額品が活発に動いたほか、銀座店で開催中の「絵画売りつくし」も売上を押し上げた。食品は、大型改装が進行中の名古屋店や、昨年秋に増床した東京店などが牽引した。